

学 会 記 事

第15回研究報告大会は、1994年11月12日（土）～13日（日）の両日、温暖快晴の天候に恵まれ、学習院大学で開催された。共通論題は「マーストリヒト条約の多角的検討」で、同条約が包含している「連合」（union）としての多面的な諸問題、諸側面に関する政治、法律、経済各分野からの興味深い報告と問題提起が行なわれ、フロアとのあいだで熱のこもった質疑、討論が交わされた。前オーストリア駐日特命全権大使 E. M. シュミット氏の報告は、オーストリアの EU 加盟の必然性を経済、政治両側面から明らかにしたもので、会員に多大の感銘を与えた。第1日目の日程終了後開催校学習院大学の御好意により、同大学百周年記念会館で多数の会員が参加して和やかな懇親会が開かれた。

ESCA-WORLD（世界 EC 学会）第3回研究大会は、1996年9月12（木）～13（金）の両日、ブリュッセルで開催されることになった。本学会においても、田中俊郎理事を中心に、Call for Papers の募集、候補者の選考、推薦の作業が進められている。選考結果に大きな期待が寄せられる。

なお1993年秋の第13回研究大会で報告を頂いたルネ・シュヴォク教授の原稿は、手違いにより第14号に収録することができなかったので、本号に「論説」という形で掲載させて頂いた。シュヴォク教授ならびに会員諸氏に、不手際を心からお詫び申し上げたい。

〔プログラム〕

□第1日（11月12日）

午後の部（13時～16時30分）

司会者 金丸輝男（同志社大学）

島野卓爾（学習院大学）

- (1) マーストリヒト条約における政治統合関連規定の検討

松隈 潤（西南学院大学）

(2) 欧州連合の安全保障問題 植田隆子 (国際基督教大学)

(3) EUとオーストリア

E. M. シュミット (前駐日本国オーストリア特命全権大使)

総会 (16時40分～17時)

懇親会 (17時15分～19時15分) 百周年記念会館

□第2日 (11月13日)

午前の部 (10時～12時)

司会者 小室程夫 (神戸大学)

(1) 欧州経済領域 (EEA) と原産地認定 喜多一行 (東洋通信機(株))

(2) EU 共通海運政策と競争法 松本 勇 (長崎県立大学)

昼食休憩 (12時～13時) 理事会 (12時～13時)

総会 (13時～13時15分)

午後の部 (13時15分～16時15分)

司会者 山手治之 (京都学園大学)

(1) マーストリヒト条約とイギリス憲法体制 中村民雄 (成蹊大学)

(2) EU 環境政策～補完性の原理の視点から 和達容子 (慶応大学大学院)

(3) ドイツ・オランダにみる環境問題と農業 高山隆子 (明海大学)